

An illustration of several hands of different skin tones and wearing various cultural accessories (like headwraps, necklaces, and bracelets) holding a central globe. The hands are arranged in a circle around the globe, symbolizing global unity and diversity.

「生活者としての外国人」と築く

『多文化共生社会』とは

-石川県能美市における現状と課題から-

金沢大学人間社会学域国際学類 板倉 さくら
能美市国際交流協会会長 喜多 泉

2025.02.15

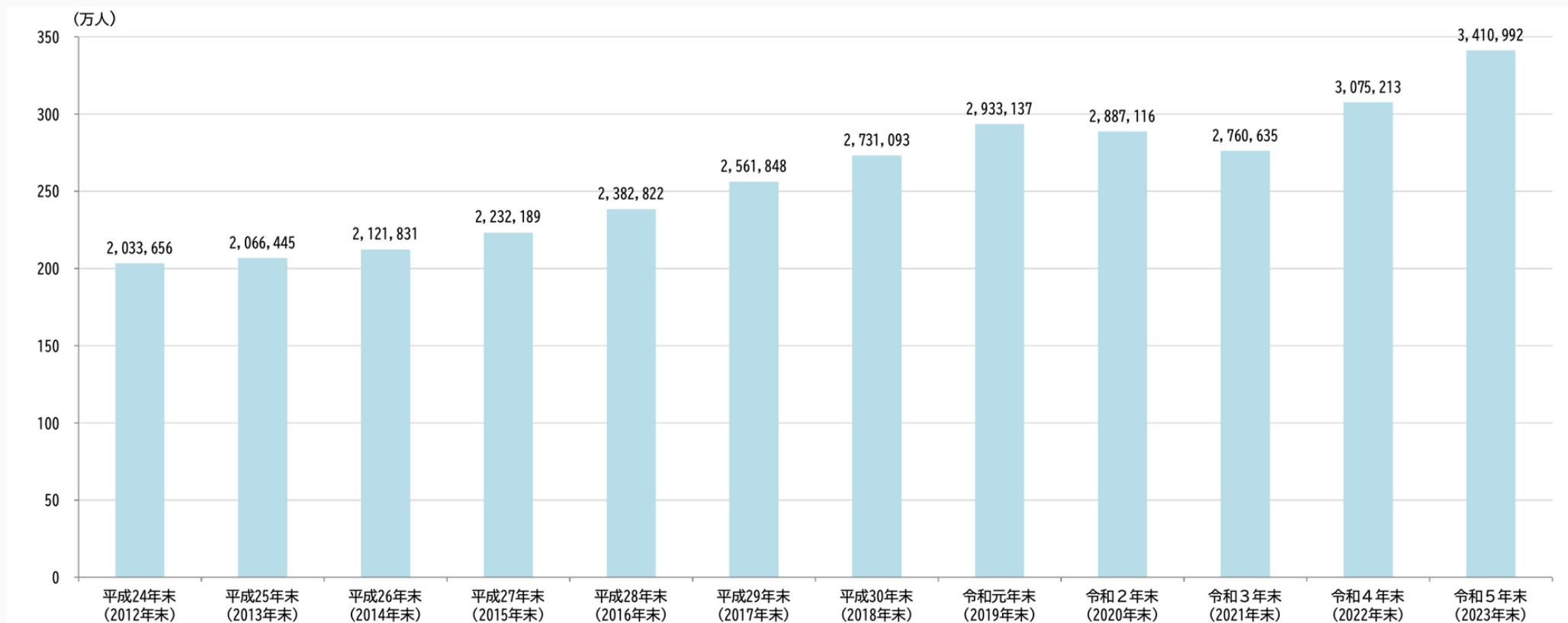
目次

- 01 はじめに
- 02 能美市国際交流協会での取り組み
- 03 卒業研究について
- 04 能美市で実施した調査について
- 05 調査の結果・分析
- 06 考察に基づく多文化共生の現状と課題
- 07 まとめ
- 08 参考文献

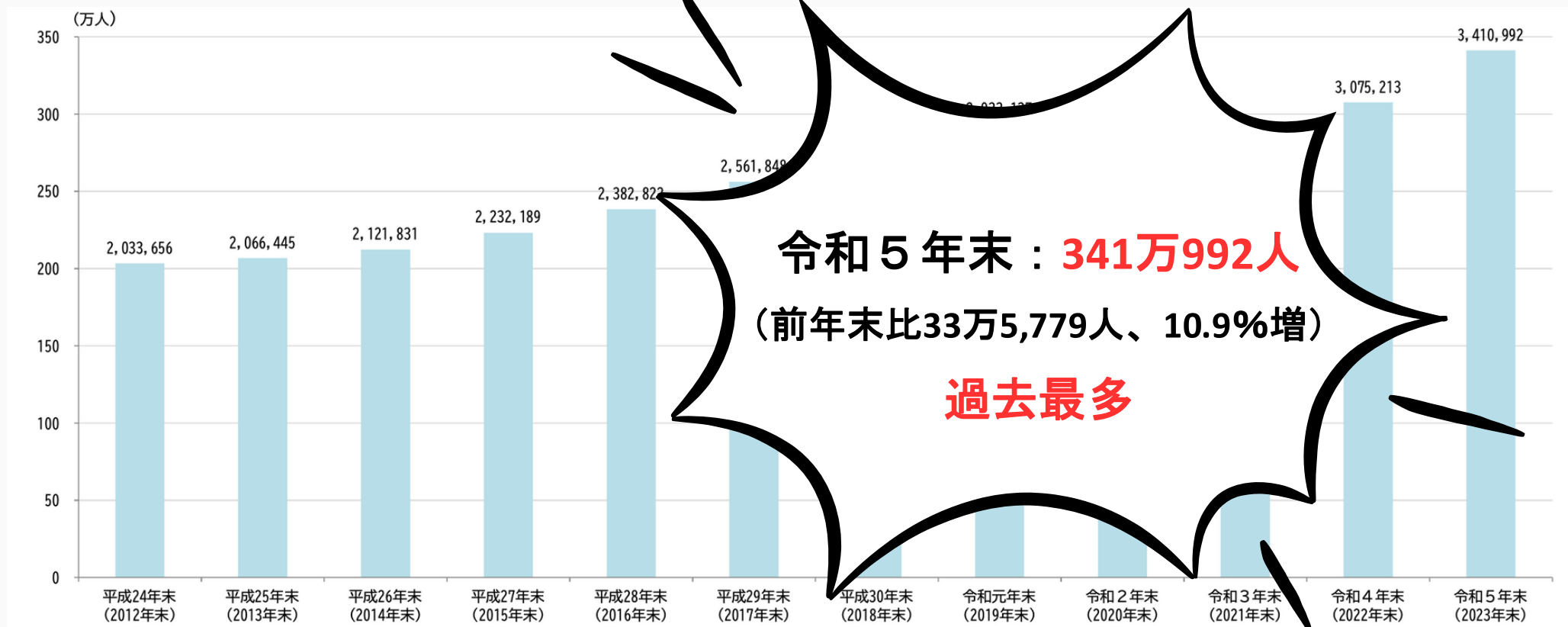
目次

- 01 はじめに
- 02 能美市国際交流協会での取り組み
- 03 卒業研究について
- 04 能美市で実施した調査について
- 05 調査の結果・分析
- 06 考察に基づく多文化共生の現状と課題
- 07 まとめ
- 08 参考文献

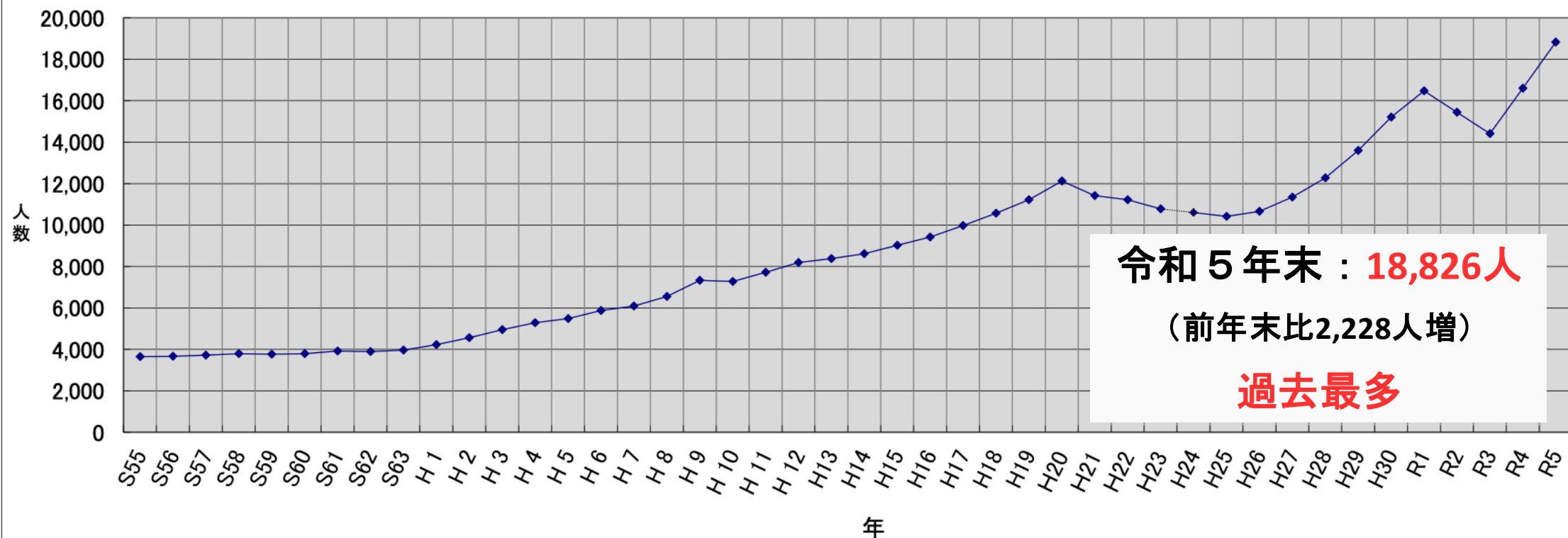
日本における外国人住民数は増加傾向にある



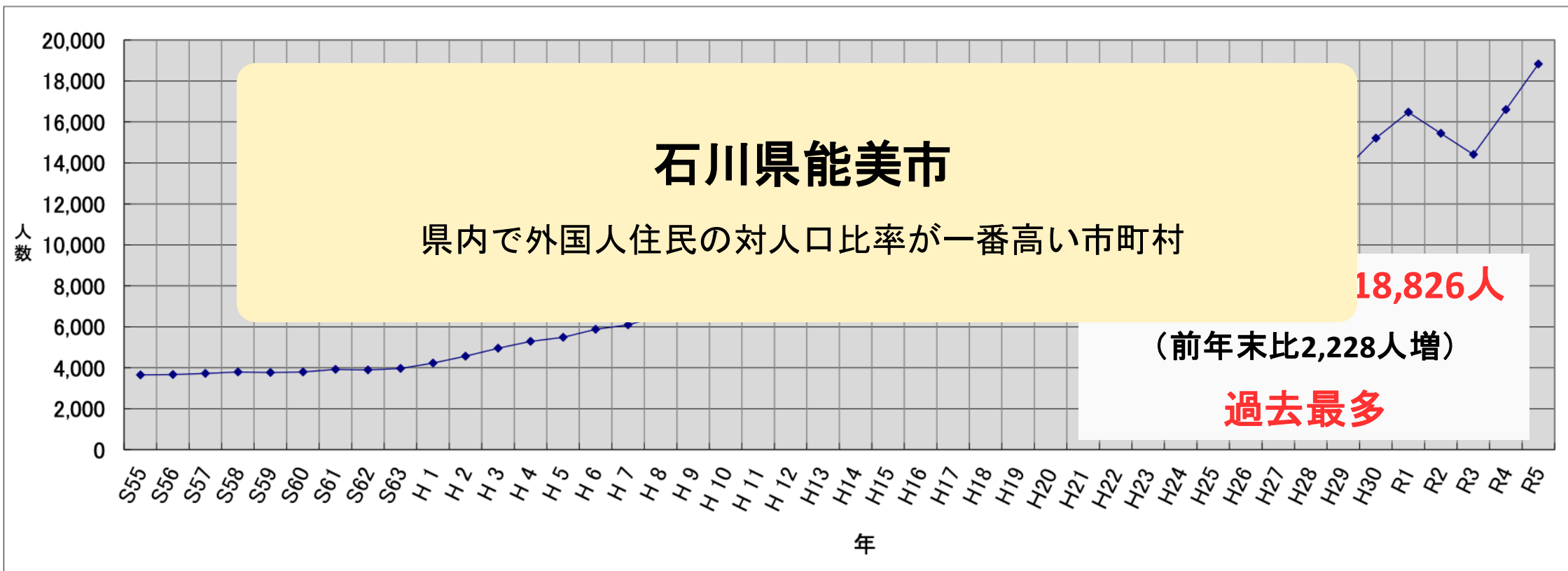
日本における外国人住民数は増加傾向にある



石川県における外国人住民数も増加傾向にある



石川県における外国人住民数も増加傾向にある



目次

- 01 はじめに
- 02 能美市国際交流協会での取り組み
- 03 卒業研究について
- 04 能美市で実施した調査について
- 05 調査の結果・分析
- 06 考察に基づく多文化共生の現状と課題
- 07 まとめ
- 08 参考文献

多文化共生社会をめざして！



能美市国際交流協会 (NIEA)

喜多 泉

能美市って？



pixta.jp - 107446843

日本海 山 手取川



面積84.14km²

能美市の人口？

***能美市の人口 49,700 人** (2025.1.1)

***外国人の数は 1,575 人** (2025.1.1)

(2024.12月末)

- 1.ベトナム (605人)
- 2.中国 (434人)
- 3.インドネシア (112人)
- 4.フィリピン(85人)

人口の
約 3.17%

(石川県で1番)

能美市の外国人はどんな方？(2024.12月末)

留学生 406人
教授 18人

永住,定住者と
配偶者・家族
354人

技能実習生 404人
(243人/2021年)
特定技能 235人
(98人/2021年)

「国際交流」と「日本語サポート」
～「能美」の歩み～ (27年)

♡○○○○○♡があってこそ



能美市国際交流協会 (NIEA)

Nomi International Exchange Association

会員数

2025年1月15日現在

* 個人会員 191 人

* 家族会員 87 人 (34 家族)

* 団体会員 7 団体

★278人 + 7団体

能美市国際交流協会 (NIEA)

Nomi International Exchange Association



日本語サポートの歩み（国際交流とともに）

- * 1990年（H2） 北陸先端科学技術大学院大学開学
（旧辰口町）
- * 1997年（H9） **日本語支援スタート**（JAIST関係の妻の要望）
（JAIST研究員 & 町民有志数名）
- * 1999年（H11） **辰口町国際交流協会発足**（会長：町長）
（町民有志 & 日本語ボランティア）
- * 2000年（H12） **JAISTで『日本語クラス』開講（週1）**

※学習会 開催

教えるために、
学びたい!!

* 2001(H13) 日本語指導基礎講座10日間
(石川県講師会 講師派遣要請)

※集いの場づくり

もっと自由に
リラックスして！

2003(H15)『はじめまして日本語クラブ』開始

♥楽しく交流（週1）

（おしゃべり、料理、着付け、お花）

♥心配ごと相談も（子ども、病院、手続き）

2005年（H17） 能美市誕生 （3町合併）

<改名>

辰口町国際交流協会



• 2006年（H18）

辰口国際交流協会



▪ 2010年（H22）

Nomi国際交流協会(NIFA) に

能美市国際交流協会の事務所！

* 開所 : 2019年(令和元年)協会設立時

* 働いている人 : 職員 3名 , パート3名

* 開いている日 : 火水木金土日 月(休)

* 開いている時間 : 午前9時30分～午後6時

日本人3
ロシア人1
ブラジル人1,
ベトナム人1

NIEAのめざすことは？

- 能美市に住んでいる外国人が、日本人と同じように幸せにくらせるようになること。
- 能美市民が、外国人を同じ市民として受け入れ、自然に声掛けできるようになること。
- 日本人,外国人にこだわらず、また個人,団体にこだわらず、お互いに助け合えるようになること

✿やっていることは？

1. 外国人の人のサポート

2. 外国人の人と日本人をつなぐお手伝い

☺通訳・翻訳のお手伝い！

☺異文化を知るためのイベント開催！

☺地域の人との交流の場を作る！

☺日本語教室の開催！ などなど！

実際の

具体的な活動は？

どんなことをしているの？

【外国人の声】

分からない！

通じない！

どうしたらいい？

ことば

★通訳ボランティアの活躍

・ボランティア通訳の登録数？ 45人（実働数：約13人）

英語

中国語

ベトナム語

韓国語

ロシア語

ポルトガル語

ゴミ分別の通訳



★外国人の相談窓口

* どの国の人が多い？ ベトナム ブラジル

* 2024年度 4月～？ **約267件**



※外国人 196件

ブラジル人	ベトナム人	ロシア人
ペルー人	バングラディッシュ人	
パキスタン人	インド人	インドネシア人
フィリピン人	ナイジェリア人	
ウクライナ人	フランス人	

※日本人 71件 (主に行政関係)





どんな時？ どんな場？

- ・ 乳幼児健診 → 健康福祉センター
- ・ 保育園（入園、各種連絡、手続き） → 保育園
- ・ 学校（入学、転入、手続き、懇談会） → 学校
- ・ 運転免許取得に関して → 免許センター（警察）
- ・ 各種医療機関の受診 → 各種医療機関
- ・ 住居探し、入居手続き → 不動産屋， まち整備課
- ・ 金融機関での手続き → 各種金融機関
- ・ 市役所での手続き → 市役所各課
- ・ お金が無い → NIEAの事務所、金融機関

外国人のための“もってけマーケット”



毎月第1日曜

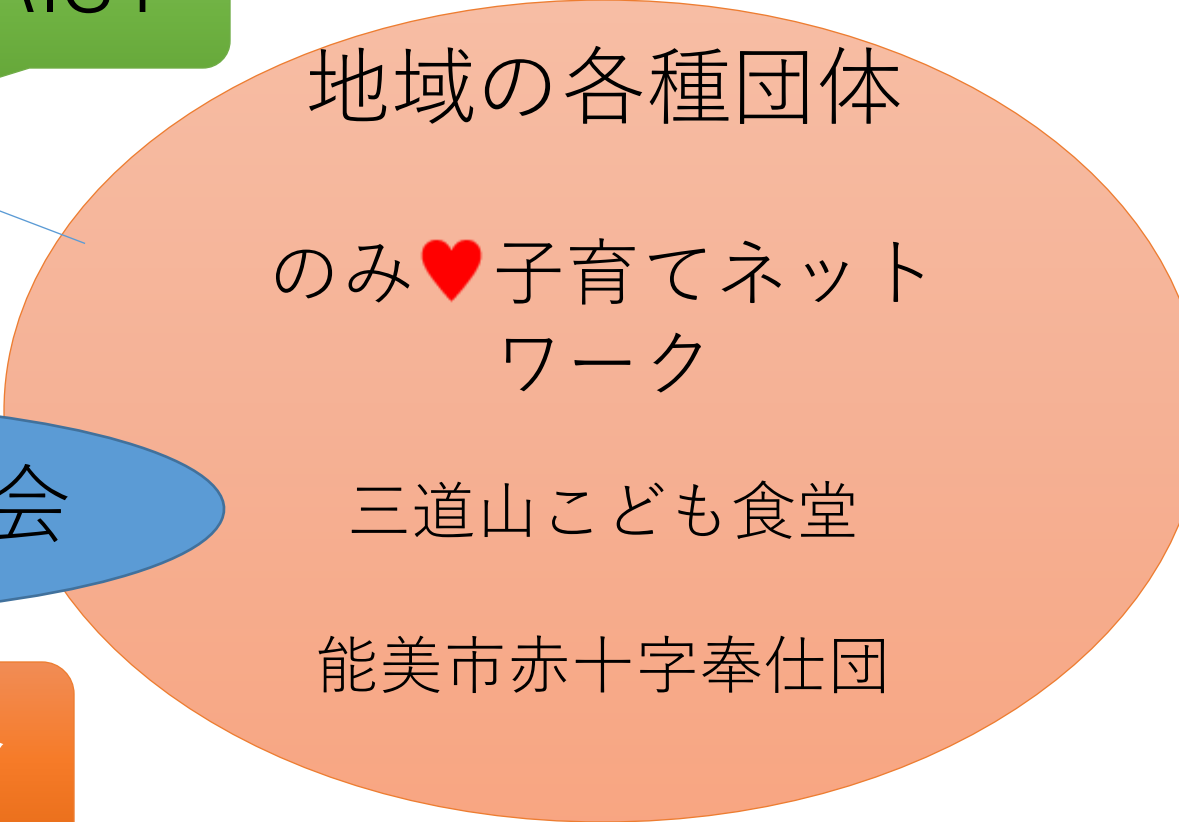
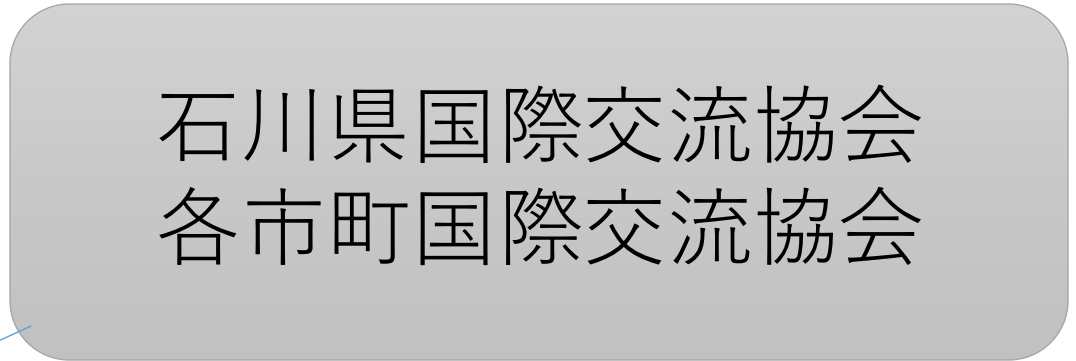
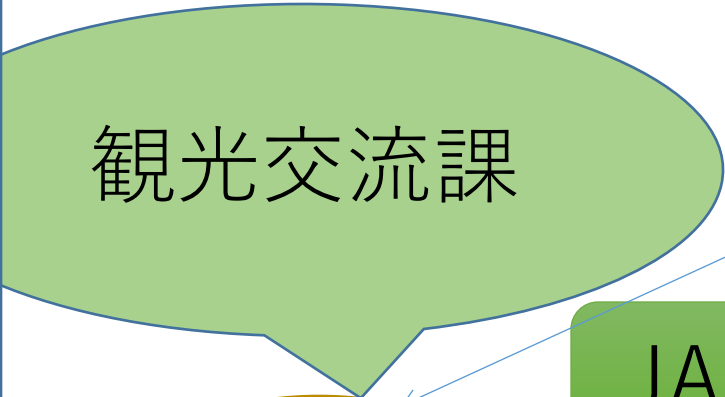
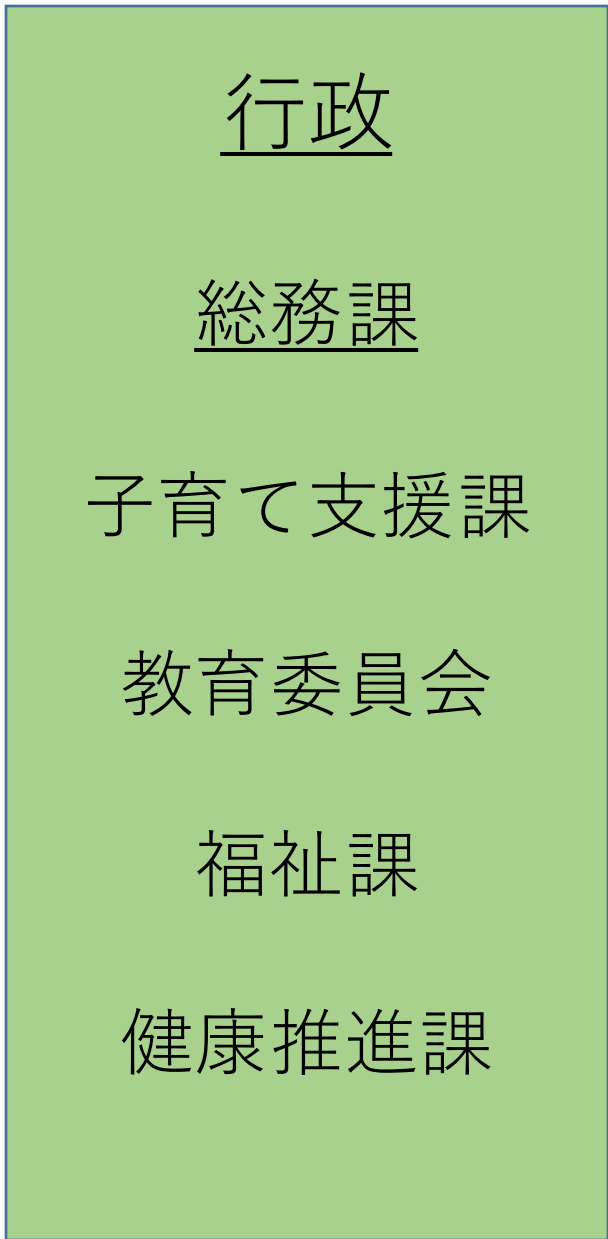
全部は、引き受けられない!!どうする??

① つなぐ役割

NIEAだけで解決できない事は、専門機関や他団体につなぐ。

② 協力体制づくり

- ・ 日常的なやりとり → 信頼関係（顔が見える関係）
- ・ こまめな情報共有 → 情報が多いほど適格な対応



【外国人の声】

さみしい！

つまらない！

♡ 話し相手が欲しい！

♡ 友だちが欲しい！

♡ 楽しくて お金のかからない所に行きたい！

★世界の友だちサロン (毎週水曜午前 / どなたでも!!)



自由におしゃべり

ギターを聴きながらお茶



世界のともだちサロン（浴衣体験）





★ニューイヤーパーティー



今年も一緒に楽しもう！





★国際交流ひろば



いろいろな国の人 笑顔！！



★バスツアー

(金沢港 界隈)



九谷セラミックラボトリー



福井の恐竜博物館



★国際交流サロン,交流イベント

ブラジルのクリスマス



遠くて近いアフリカ!

わがまち紹介! アメリカ・中国・ミャンマー







防災サロン・防災講座

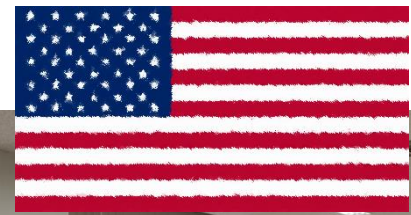




中国語



★外国語講座



英語



ポルトガル語



★その他の活動(オンライン)



寺井散歩

市内の文化的。歴史的
スポット紹介



ねあがり散歩
その1 砂丘と松



メキシコ料理
中毒になる感じ

オンライン料理(日本文化紹介)



「共に過ごす時間」が、
「共に生きていく」きっかけに！

日本人も外国人も同じですよね！！

安心感

興味

受け入れ

じゃんじゃん発信！

★外国人にも 日本人にも 知ってもらいたいから！

- * ホームページ
- * フェイスブック
- * ニュースレタ
- * 能美市 広報
- * 市内 防災無線
- * 日本語クラス

互いに認め合える
関係に近付けるよう
に！

顔を見て伝えられる

でも！ 発信だけで伝わる！？

- ・ 聴きたい人いらっしやーい！
- ・ 来たい人いらっしやーい！

★興味のある人だけ！

★参加できる人だけ！



これでは、多文化理解は広がらない

★地域(町)に出向いて交流



「あんた、どっから来たん？」 「日本語うまいね」



子どもたちの所へ(市内全小学校)

自然に交流！

自然に受け入れる子どもを信じて！

★小学校の英語授業支援

• (学校支援課からの依頼)



外国人住民
の協力





「えっと〜！」
「What animal do you like?」









保育園訪問



年間通じて市内全15ヶ所

🌸 英語で遊ぼう！（毎月市内の図書館にて）



外国の方にも活躍の場を……

水害！

「市民として出来る事をしたい！」



一仕事終えて、地域の方と 笑顔の交流



能登地震被災者のパントリーに協力



おにいちゃん。なに
人？

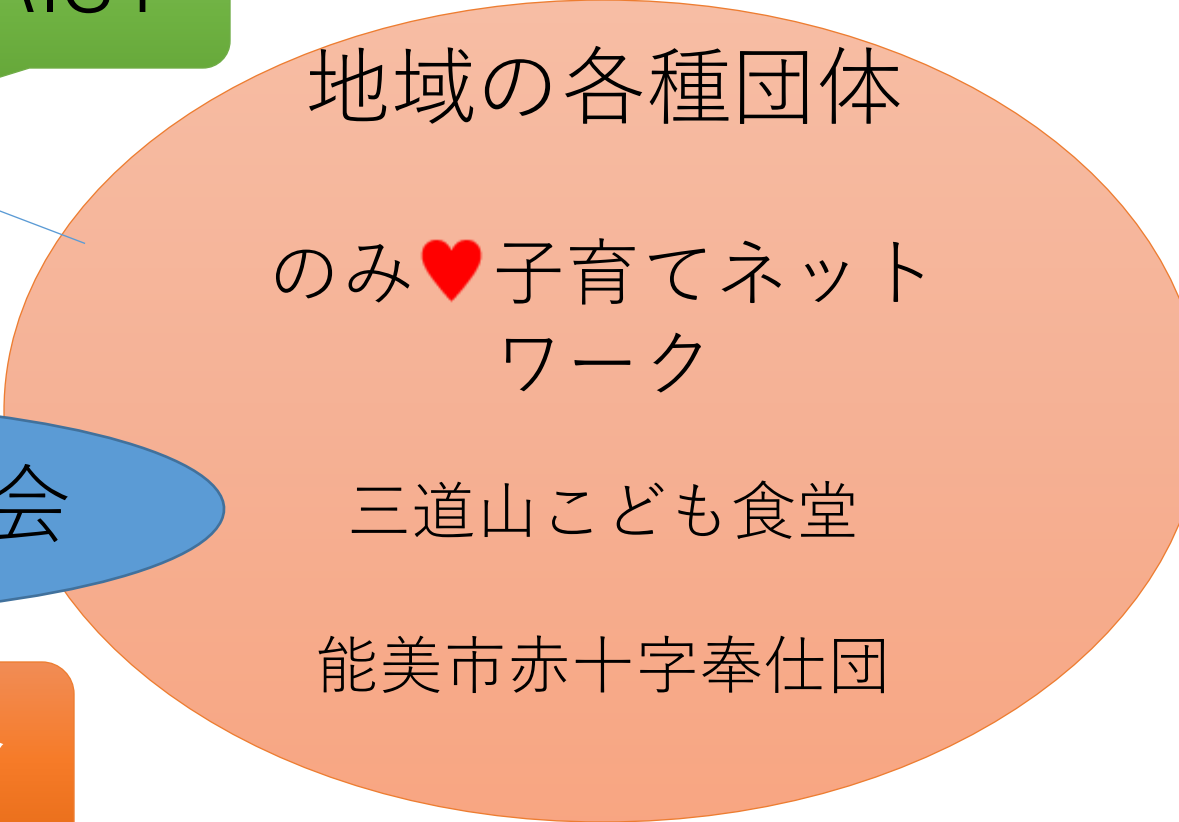
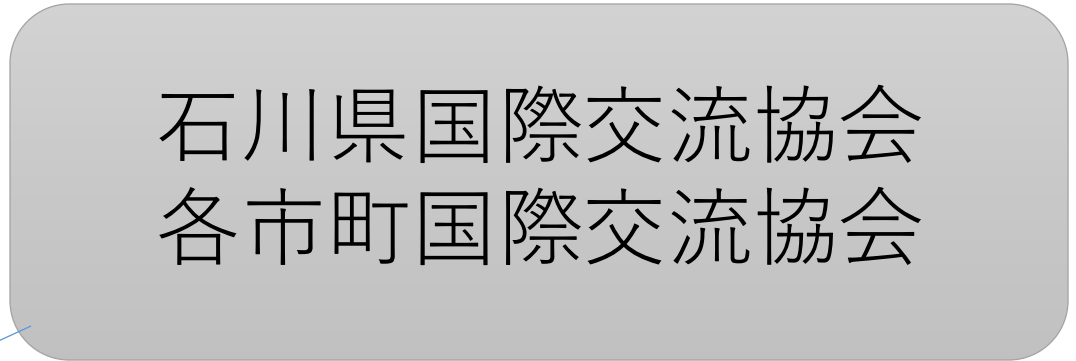
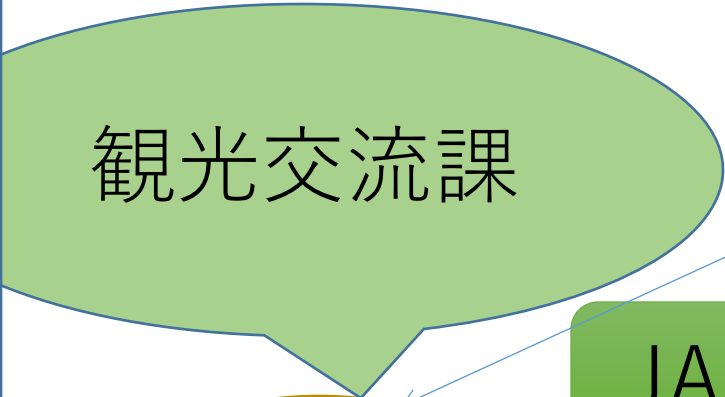
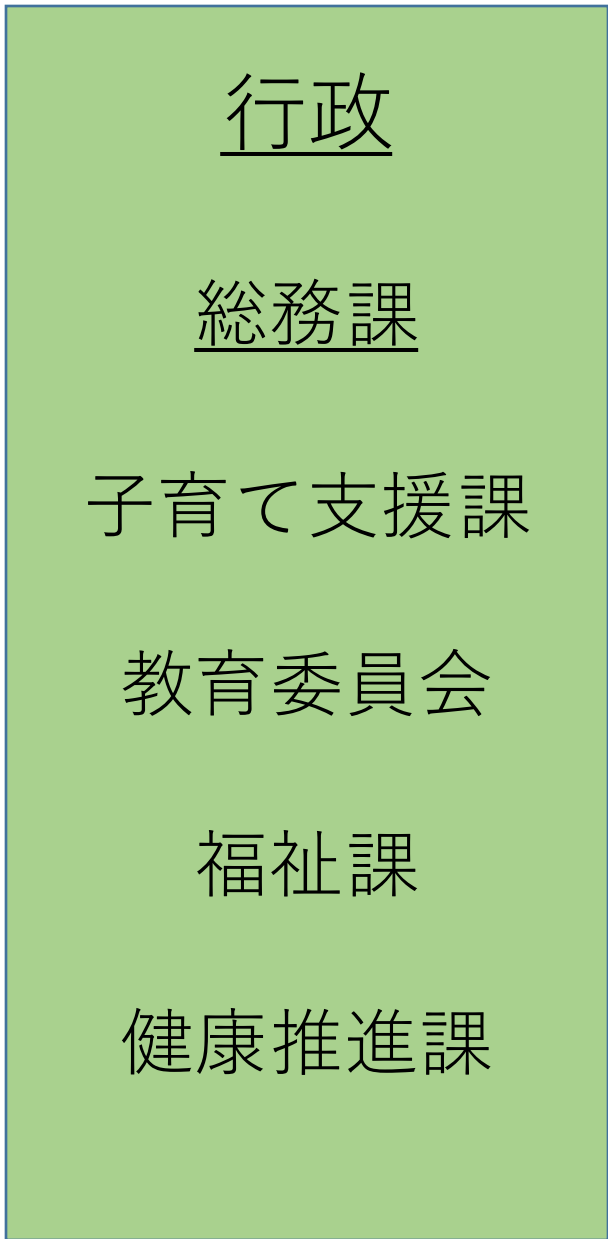


手伝ってくれて
ありがとう！



「たい焼き、どうぞ！」
「あら～、ありがとね！」





【課題】

企業とのつながり

働く外国人が、市民の一人として、社会の一人として、安心と自由を持って生活できるために、彼らの声を元に情報共有の必要性を感じる。だが、なかなか企業との話し合いや交流の機会を持ってないでいる。

町会とのつながり

市内の多くの町に外国人が住んでいるのに、存在を知らなかったり関わりを避けたりする日本人住民がいる。アパート住まいという難しさもあるが、町民として一緒に過ごす場を提案できたらいい。

行政へのはたらきかけ

行政内での外国人への関心を高めたり、「外国人も大切な市民だ」という認識を持ってもらえるように、こまめに行政各課へ相談したり、情報の共有に努めなければならない。

このままじゃ先生が足りない

2010年 第1回 能美市日本語講師養成講座
・前期（2010年 5月～12月）

・後期（2011年 7月～11月）

2011年 根上クラス開講（能美市日本語講師会）

2013～14 第2回日本語講師養成講座（前後期）

2016～17 第3回日本語講師養成講座（前後期）

• 2010年 (H22) Nomi国際交流協会 (NIFA)

* 『託児付き 日本語クラス』 開講 (辰口地区)

「はじめまして日本語クラブ」 (2003年～)



* 「世界の友だちサロン」 (改名)

- 日本語講師（偉そうかな？）

↓ 改名



- 日本語サポーター（応援する人）

2019年（R元） 能美市国際交流協会(NIEA)設立
(担当：能美市観光交流課)

▼市内の日本語クラスは！
能美市国際交流協会 日本語クラス（改名）

- ① JAIST 能美市連携講座（火午後）(2021年改名)
- ② 辰口クラス（火午前・託児付き）
- ③ 寺井クラス（水夜）
- ④ 根上クラス（土午前）
- ⑤ NIEAオンラインクラス（2020～）

JAIST 能美市連携講座 (火曜 午後)



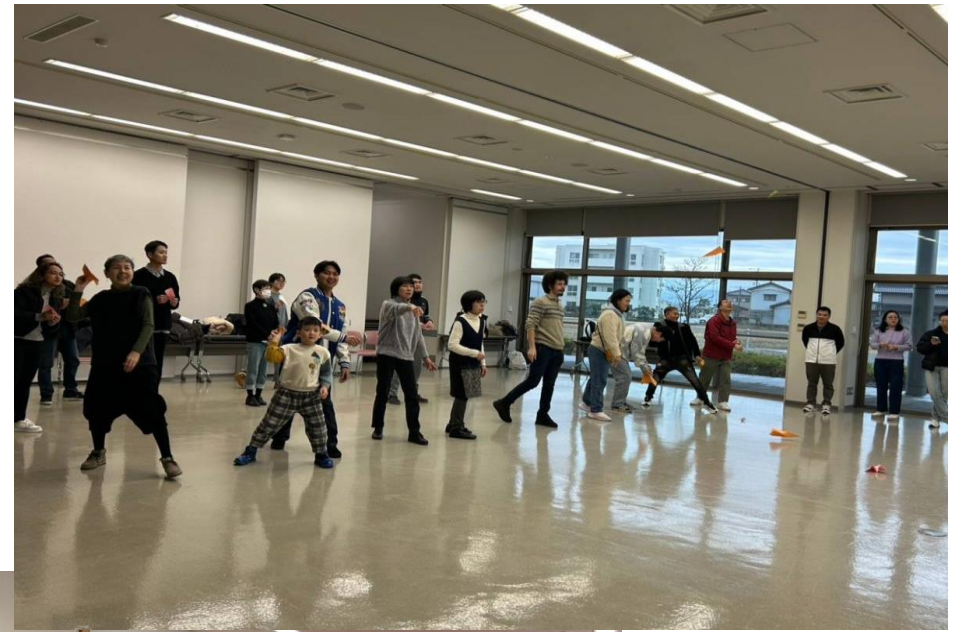
辰口クラス(火曜 午前)



寺井クラス (水曜夜)



根上クラス (土曜 午前)



オンライン授業



「地域の日本語クラス」は、どんな場所？

★日本語を学ぶだけ？

学習者

毎週行ける
話ができる（聴いてもらえる）
相談できる
ゆっくりできる
友だちができる
情報がもらえる
楽しい事に誘ってもらえる

★教えるだけ？

サポーター

- ・毎週行ける
- ・仲間に会える
- ・日本語を勉強出来る
- ・異文化に触れられる
- ・協力依頼ができる
- ・若い刺激をもらえる

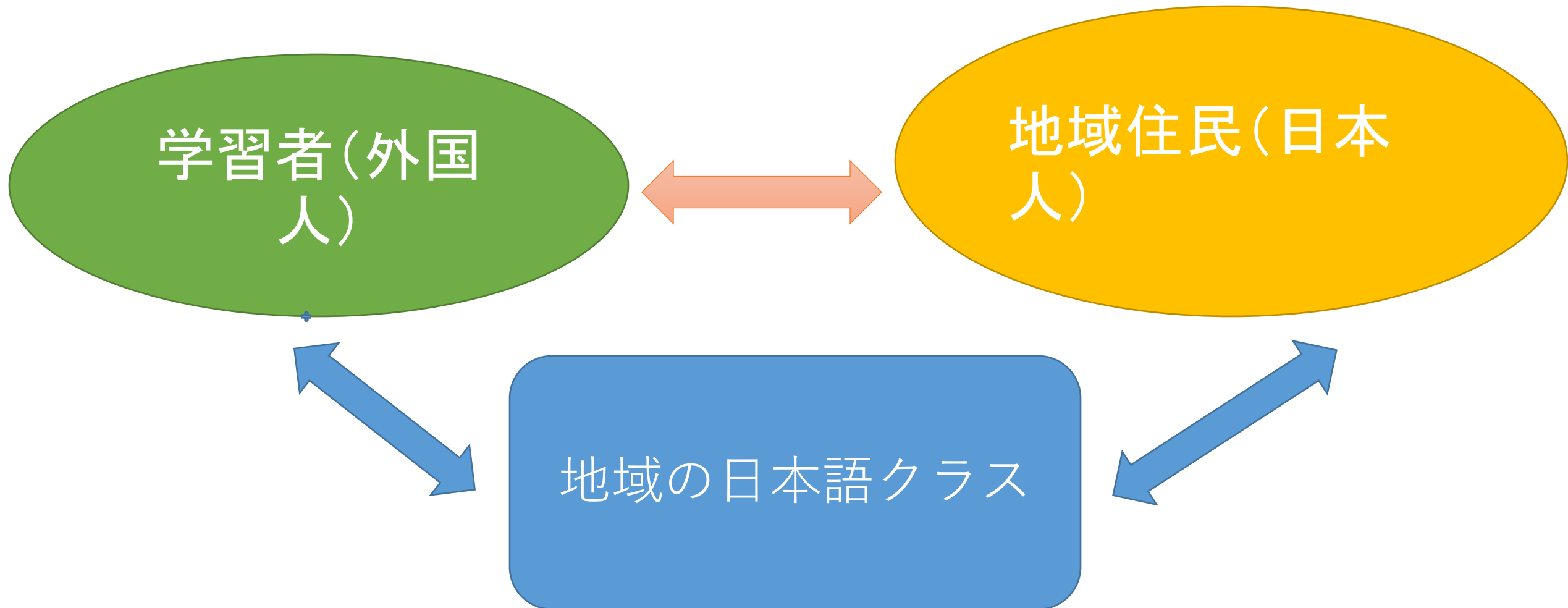
地域日本語教室の目的は？

正しい日本語をスラスラと話す人を育てる事？

「安心できる居場所」「楽しい場所」として
そこから、意欲と自信が生まれてくればいいな



- * 日本語クラスは、双方の窓口
- * サポーターは、キャッチしてつなぐ人



★外国にルーツを持つ子どもへのサポート

外国籍の子ども (2025年2月10日)

* 小学校8校中 6校 36人

* 中学校3校中 2校 3人

合計 39人

市内に、1校
日本語クラス







ここでまた、課題！

これから、さらに増える子どもたち！！

サポーターが足りない！

子どもを放って置くことはできない！（未来の担い手）

保護者へのサポートも必要！

市全体の問題！

教育委員会と一緒に対策を！

学校現場の意識改革も！（異文化楽しむ！共に学ぶ！）

日本人の保護者の意識改革も！

でも！

日本人だけでも、一人一人違う個性を持っている。

これからは、もっと多くの個性が出会えるようになる！

新しい言葉や新しい食べ物もドンドン増えるかもしれない！

* ワクワクしながら、出会った方を大切に、
出来る事を出来るだけやって、
みんなで幸せに生きていきましょう！

目次

- 01 はじめに
- 02 能美市国際交流協会での取り組み
- 03 **卒業研究について**
- 04 能美市で実施した調査について
- 05 調査の結果・分析
- 06 考察に基づく多文化共生の現状と課題
- 07 まとめ
- 08 参考文献

03

卒業研究について

少子高齢化

人手不足

外国人材の受入れ

目指すべき外国人との共生社会のビジョン

安全・安心な社会

多様性に富んだ
活力ある社会

個人の尊厳と人権を
尊重した社会

03

卒業研究について

少子高齢化

▶ 人手不足

▶ 外国人材の受入れ

目指すべき外国人との共生社会のビジョン

外国人住民も日本社会を共につくる一員である
→社会につながる「生活者としての外国人」

現在、政策と実態の乖離が生じている

外国人住民の生活実態やニーズを正確に把握し、
「生活者としての外国人」のための支援拡充を目指す必要がある

本研究では石川県能美市における地域住民、外国人住民、地域日本語教室、外国人住民を雇用している企業の実態を調査する。そして、**行政機関・地域・企業が一体**となり、外国人住民の声も反映させ、**外国人住民も日本社会を構成する一員**であることを前提とした多文化共生社会のあり方やその重要性を検討する。

外国人住民の受入れについて

・ 入国後講習の課題

荒島・吉川（2019）は、管理団体へのインタビュー調査をもとに、入国後講習の時間数の不明確さや、**実施内容の質に差**が見られると指摘している。また、日本の習慣やマナー、生活態度などの言語教育以外の部分を優先しすぎると**実習生の人権侵害**にも繋がりがねないと述べている。

→労働者としてだけでなく地域で暮らす「生活者」として尊重される仕組みを構築することが重要

・ 地域住民側の意識

深澤他（2022）は、石川県白山市における外国人受け入れをめぐる意識について、同市が実施したアンケート調査をもとに分析を行っている。外国人住民が居住していない地域の回答者ほど、言語の壁や生活習慣の相違による**トラブルの発生を恐れている**ことや、**地域住民と外国人住民の関わりが少ない**ことを指摘している。

→外国人住民を「生活者」＝ともに地域で暮らす存在、として受け入れていない

就業中の外国人住民について

・ 技能実習生の実態

「総社市における外国人就業者の日本語教育支援に関する調査報告書」（岡山県, 2018）

【来日目的】

お金を稼ぐ、技能習得、日本語の勉強、将来日本に関する仕事に就くなど

【日本での生活における悩み】

方言が理解できない、病気の時に症状が伝えられない、日本の習慣や生活マナーの理解困難、会社の日本人とコミュニケーションが取れない、仕事で必要な日本語ができない、敬語が使えない、地域住民との交流がないなど

* 日常会話ができるようになりたいと思っている人も多い

就業中の外国人住民について

・外国人労働者を雇用している企業の取り組み

服部（2022）は、和歌山県紀の川市の企業関係者及び企業で働く外国人を対象としたアンケート及びインタビュー調査から外国人労働者の日本語学習の実態を明らかにしている。

外国人労働者を受け入れている企業が「語学力」を求めているにもかかわらず、外国人労働者に向けた日本語教育については自治体や地域ボランティアに頼り、外国人が自ら学ぶことを期待する傾向も見られた。

一方で、自社で日本語教育を提供したり、地域との連携と発展を図りながら「多文化共生」の街づくりに挑戦するための共有スペースを寮内に整備し、イベントを企画したりしている企業もあった。

→企業の他力本願 vs 自助努力、より効果的・実用的な学習機会提供の必要性

地域日本語教育について

・日本語教室の授業形態

中東（2016）は、「積み上げ式」ではなく、テーマごとの「**1回完結式**」であると、「いつ来ても日本語教室に参加できる」という**安心感を与える**ことができるため、日本語学習の維持・意欲向上につながると指摘している。

→地域に根ざした日本語教室

・市民ボランティアの意識

新庄・西口（2007）は、実際の活動では「**支援/非支援**」という関係が浮かび上がり、「**支援者**」と**しての自分**という自己アイデンティティが「日本語ボランティア」を通じて形成され、それによって得られる**満足感**が地域日本語活動に参加し続ける原動力となっていると指摘している。

→言語支援の枠を超えた相互に学び合う関係性

市民性について

・ 社会と言語の関係性

細川（2016）は、「市民」とは**社会の一員**として他者と関わり、**社会的行為主体**であることを自覚することとし、市民性形成的言語教育について以下のとおり述べている。

このことばによる**対話環境**の中で、人は、言語活動主体として自らの言語生活を活性化させ充実させていく。このことを通して、人は他者とともに社会について意識し、その**社会の構成メンバーであることを自覚**するのであり、対話という環境はそのために必要なのである。 （細川（2016） p.48より）

また、細川（2016）は「ことばの習得を超えたところ」に言語教育の本来の目的があり、人々は**言葉を使って社会を生きることが重要**であると指摘しており、外国人に対する**日本語教育のあり方も見直す必要**があると主張している。

→対話を通じて社会に参加する力を養う

市民性について

・ ドイツにおける市民性の起源

安達（2019）によると、移民の受け入れを積極的に進めてきたドイツでは、大規模な移民の流入や社会的格差の拡大により、これまでの教育制度では十分に対応することが困難になった。こうした**社会の変化に適応するために**、市民性の重要性が強調されるようになった。

多文化共生を実現するためには、国籍という枠組みに依存するのではなく、**日本人と外国人は同じ社会の構成員であることを踏まえ、互いに尊重し合える関係性を構築することが必要であると**唱えている。

→国籍関係なく皆が社会の一員であるという意識

目次

- 01 はじめに
- 02 能美市国際交流協会での取り組み
- 03 卒業研究について
- 04 **能美市で実施した調査について**
- 05 調査の結果・分析
- 06 考察に基づく多文化共生の現状と課題
- 07 まとめ
- 08 参考文献

能美市における外国人住民数が増加の一途をたどる中、
「生活者としての外国人」という視点から、
地域日本語教育に関するニーズや、労働を含めた外国人住民の生活実態、
また地域住民の外国人住民受け入れについての意識を明らかにする



5つのアンケート調査を実施

紙媒体とGoogleフォームの併用

調査3・4はアンケート結果をもとに半構造化インタビューも実施

	調査対象	主な調査項目
調査1	能美市で暮らす外国人住民	回答者の属性、日本語学習歴、日本語能力、能美市での生活
調査2	NIEAが主催している日本語教室に参加しているサポーター	サポーター一歴、動機、活動実態、今後の運営課題
調査3	外国人を雇用している能美市の企業関係者	雇用状況、雇用理由、仕事内容、今後の課題
調査4	調査3の企業で勤務する外国人住民	勤務状況、日本語能力、日本語学習、私生活
調査5	能美市の町内会長	町内会における外国人住民有無、国際交流の現状と課題、多文化共生・市民性に関する意識

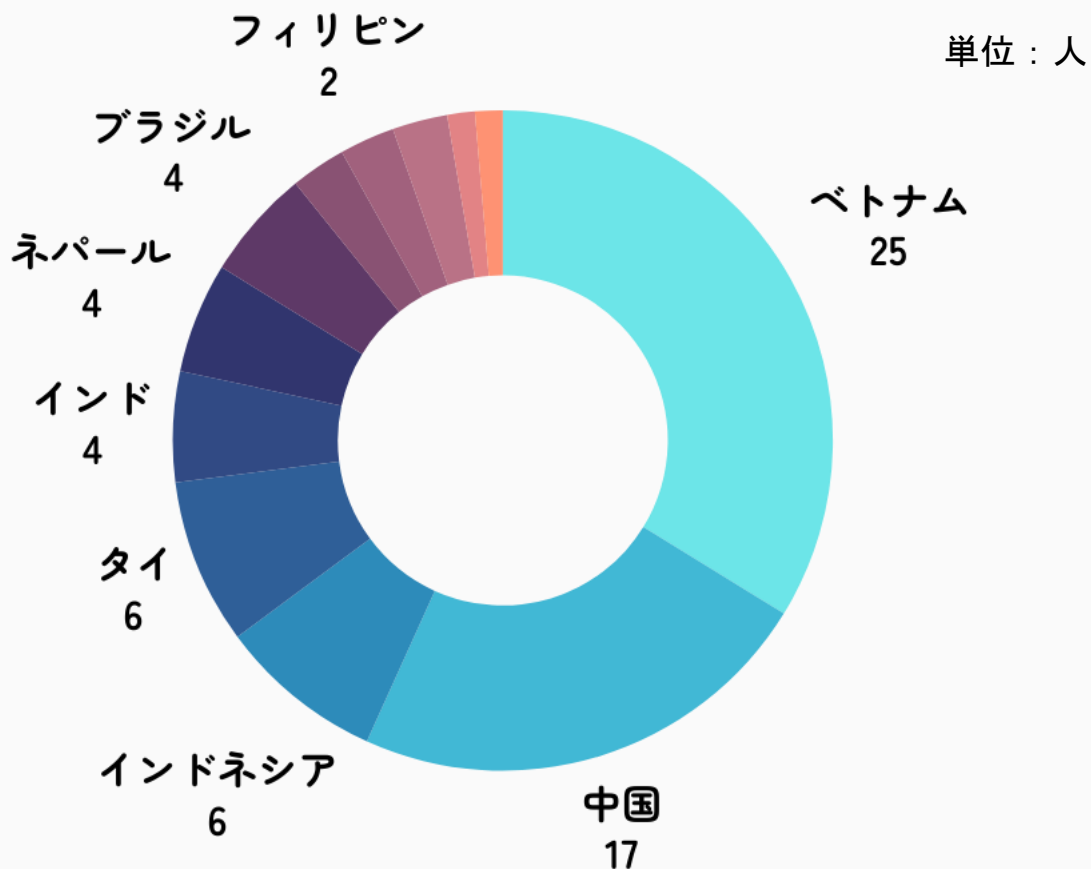
	調査期間	対応言語
調査1	2024年7月6日～7月31日	やさしい日本語・英語・ベトナム語・中国語・ インドネシア語
調査2	2024年7月6日～7月31日	日本語
調査3	2024年12月4日～12月24日	日本語
調査4	2024年12月4日～12月24日	ベトナム語・インドネシア語
調査5	2024年8月3日～8月31日	日本語

	回収数
調査1	74票
調査2	30票
調査3	4票
調査4	7票
調査5	20票 (74の町内会のうち)

目次

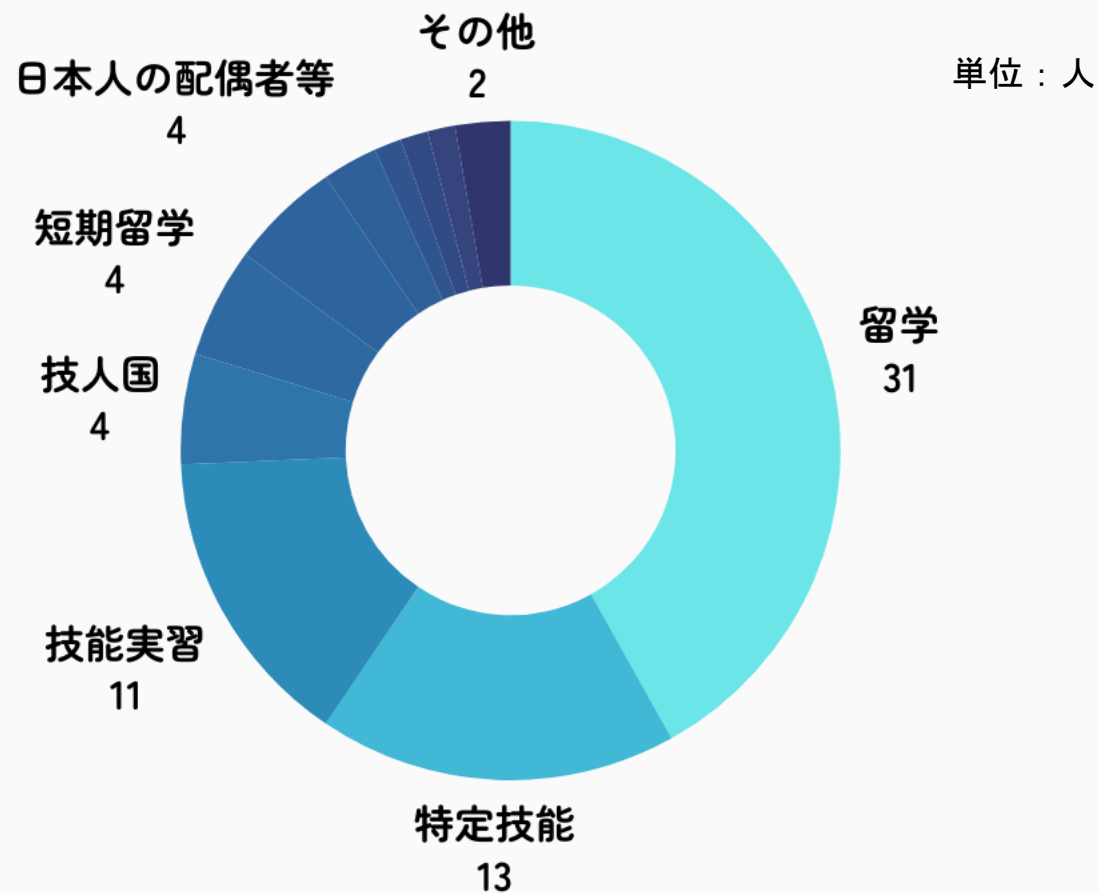
- 01 はじめに
- 02 能美市国際交流協会での取り組み
- 03 卒業研究について
- 04 能美市で実施した調査について
- 05 **調査の結果・分析**
- 06 考察に基づく多文化共生の現状と課題
- 07 まとめ
- 08 参考文献

回答者の出身国



ベトナム	25
中国	17
インドネシア	6
タイ	6
インド	4
ネパール	4
ブラジル	4
ミャンマー	2
フィリピン	2
フランス	2
アメリカ	1
イギリス	1

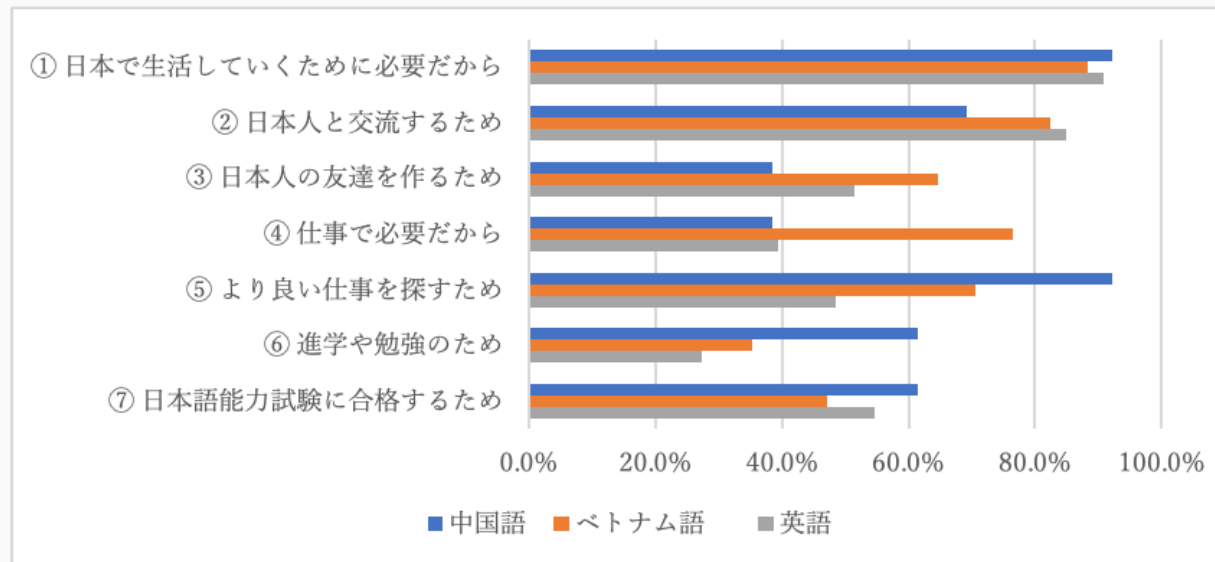
回答者の在留資格



留学	31
特定技能	13
技能実習	11
技人国	4
短期留学	4
日本人の配偶者等	4
家族滞在	2
永住者	1
特別永住者	1
定住者	1
その他	2

日本語学習の目的

- **「生活」のための日本語**
→仕事や日常生活での日本人との交流
- **「試験」のための日本語**
→日本語能力試験などの日本語能力を証明する資格の有無によって、外国人住民の就労や進学の可否が決められてしまうケースが多い



※アンケートの対応言語別に集計

多様な日本語学習方法

- 能美市国際交流協会主催の地域日本語教室
→現在日本語を学習している外国人住民の85.7%が通う、レベル別&少人数指導
外国人住民にとって気軽に参加できる学習環境
- オンライン学習
→日本語学習アプリや無料動画サイトでの「独学」
媒介語での説明がわかりやすい
- 聞いて覚える
→仕事や日常生活においてよく耳にする言葉や文法を習得する

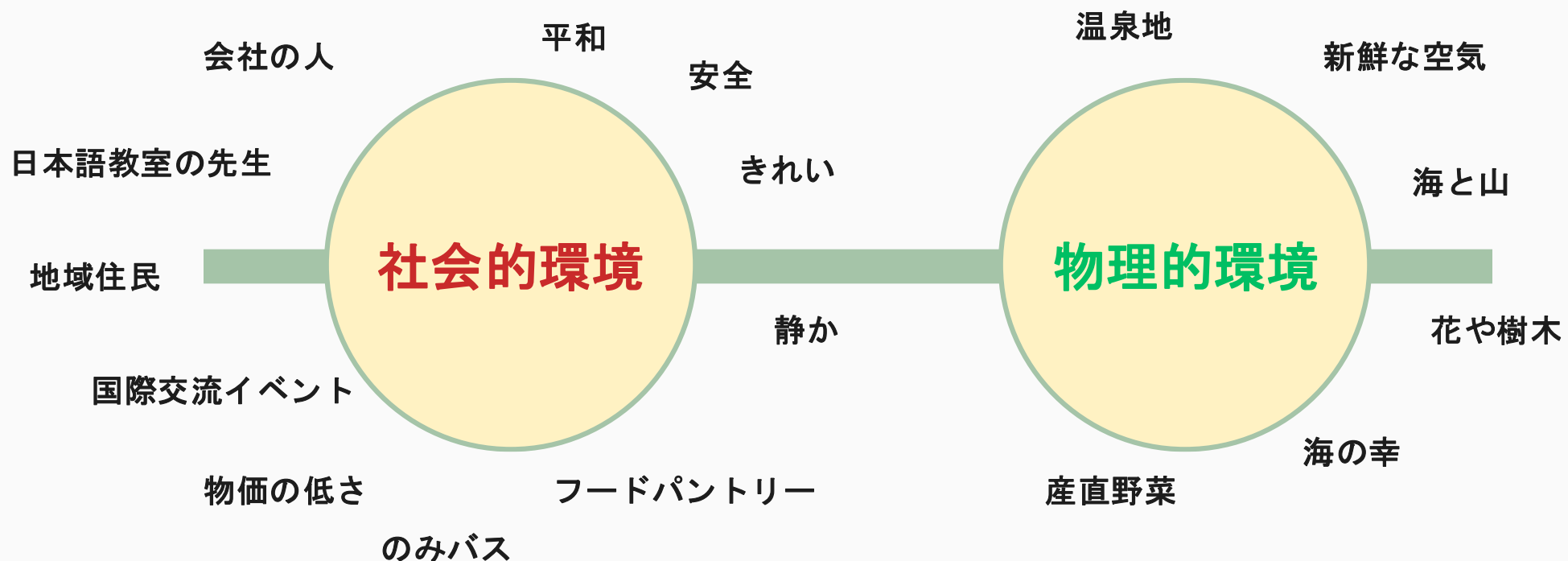
自由記述分析：日本語学習の楽しさ○

<u>テーマ</u>	<u>サブテーマ</u>	<u>トピック</u>
学習効果	<u>コミュニケーション力の向上</u>	<u>言語の壁を越える、仕事に役立つ、 自信が持てるようになる</u>
	日本語の活用法	趣味を楽しめる、生活に役立つ
学習内容	言語知識への興味関心	<u>日本語特有の表記体系、形態論と語用論、 言語転移</u>
	日本文化への興味関心	<u>様々な日本文化を知る</u>

自由記述分析：日本語学習の難しさ△

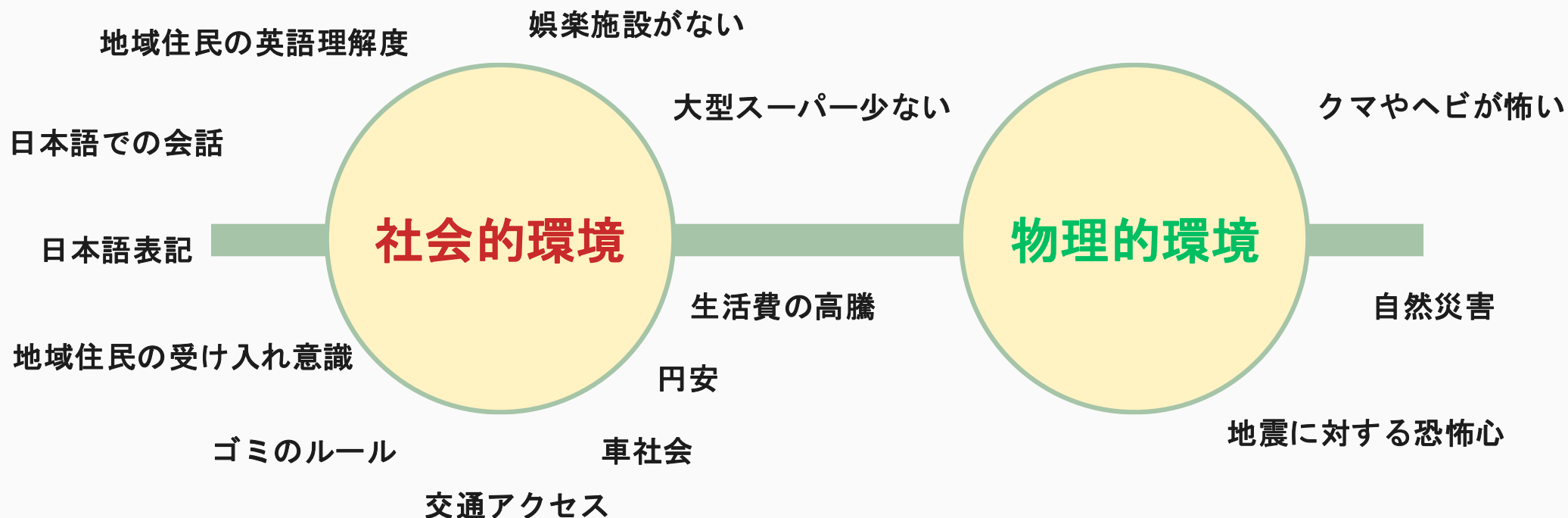
テーマ	サブテーマ	トピック
学習機会	時間的余裕の無さ	日本語を学習する時間を作ることができない
	実践的な会話練習の不足	実際に日本語で会話をする場面が少ない
学習内容	言語知識に対する苦手意識	<u>日本語特有の表記体系の複雑さ、 形態論と語用論、言語転移</u>
	待遇表現の難しさ	<u>敬語、言葉遣い</u>

自由記述分析：能美市の暮らしやすさ○



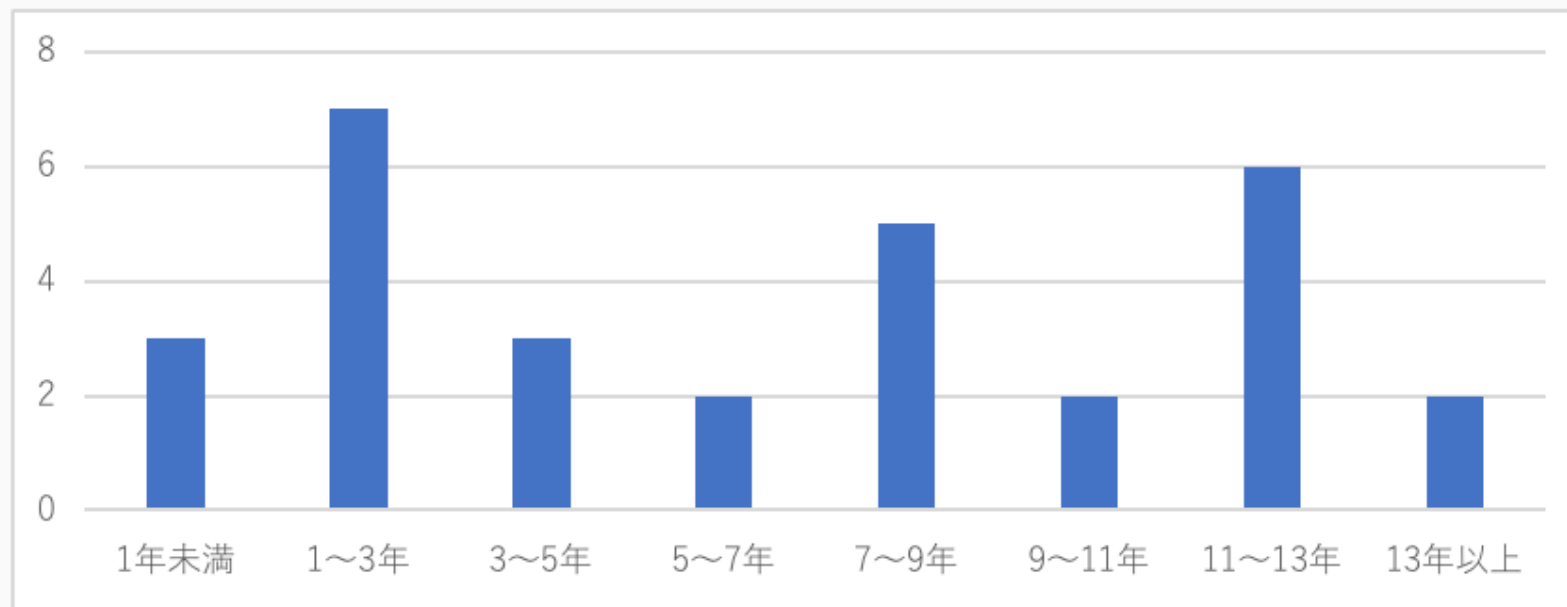
外国人住民にとって暮らしやすい生活環境

自由記述分析：能美市の暮らしにくさ△



社会的環境には課題も多い

地域日本語教室を支える日本語サポーター



表：活動休止期間を除いた日本語サポーター一歴

比較的長い期間日本語サポーターとして活動に携わっている人々が多い
サポーター一歴の最長は約26年！

地域日本語教室を支える日本語サポーター

【サポーターを始めたきっかけ】

- ・ 国際交流への興味
- ・ 留学や海外滞在の経験を活かしたい
- ・ セカンドキャリアとしての挑戦
- ・ 知人の勧め
- ・ 日本語自体への興味関心

【やりがい】

- ・ 外国人住民との出会い
- ・ 世界の様々な文化に触れる
- ・ 日本語に関する新しい気づき
- ・ 「役に立てた」という実感
- ・ サポーター同士の仲の良さ

【難しさ】

- ・ 教え方の不安
- ・ 学習者のレベル差
- ・ 学習者との関わり方
→モチベーションの維持
学習ニーズを探る

	事業所A	事業所B	事業所C	事業所D
インタビュー実施日	2024年12月4日	2024年12月10日	2024年12月12日	2024年12月24日
業種	繊維	介護	製造	介護
外国人労働者の人数	7名	4名	25名	4名
外国人労働者の国籍	ベトナム	ベトナム	ベトナム：24 ウクライナ：1	<u>インドネシア</u>

外国人労働者の性別	男：5 女：2	男：3 女：1	男：18 女：7	男：2 女：2
外国人労働者の 在留資格	技能実習：4 特定技能：3	特定技能：4	技術・人文知識・ 国際業務：11 永住者：8 家族滞在：6	特定技能：4
外国人労働者の 雇用形態	8:00～17:00	8:00～17:00 夜勤：6～7回/月 休日：12回/月	8:00～17:00 パート：7:00～16:15 8:00～12:00 8:00～15:00 8:00～14:00 9:00～14:00	8:15～17:15 現在は日勤のみ 休日：10日/月

外国人労働者の雇用について

深刻な人手不足の緩和



- ・ 専門知識の有無に関わらず、仕事に対して意欲的に熱心に取り組む優秀な人材
- ・ 意思疎通を図るための最低限の日本語理解力
→ 介護はN3程度と比較的高い日本語レベルが求められる

外国人労働者のサポート

- ・ 現在、社内で日本語教育の機会を提供している事業所はない
→日本語学習は各自に任せている
「現場の日本語」に触れることが外国人労働者の日本語の上達につながると考えている
- ・ ゴミのルールを教える
- ・ ハラルフードが購入できる店舗まで、買い物に同行する（車での送迎）
- ・ みんなの「お父さん」的存在

外国人労働者の働きぶり

いや、ほんとにね、みんな一生懸命働くから日本人より覚えることは早いんだよね。（事業所A）

介護の世界では、コミュニケーションが一番難しいんですよね。でも、日本人より上手です、（利用者の）
笑顔をすごく引き出してくれるんです。（中略）私が彼らを見るにはすごい仕事熱心です。一緒にいて楽しいし
頼りがいがある。最初はすごい不安だったけど、日本人よりよっぽどしっかりしてるわあ。彼らの仕事には頭が
下がるんです。（事業所B）

（仕事内容は）彼らに任せている部分がほとんどで、自分たちで考えてやっているんですよね。うちの会社も
みなさんの力がない限りやっていけないから。安い労働力という考え方じゃなくて、今度を担っていくメンバー
を育てていくことが大切だよね。（事業所C）

外国人労働者との良い信頼関係

	外国人労働者A	外国人労働者 B1	外国人労働者 B2	外国人労働者 C1	外国人労働者 C2	外国人労働者 D1	外国人労働者 D2
日本語レベル	聞く：1 話す：2 読む：4 書く：3	聞く：3 話す：3 読む：2 書く：2	聞く：1 話す：1 読む：1 書く：2	聞く：2 話す：2 読む：2 書く：3	聞く：2 話す：2 読む：1 書く：5	聞く：3 話す：4 読む：4 書く：4	聞く：3 話す：3 読む：4 書く：5
国籍	ベトナム	ベトナム	ベトナム	ベトナム	ベトナム	インドネシア	インドネシア
性別	男	女	男	男	男	女	男
在留資格	技能実習3号	特定技能	特定技能	技術・人文知識・国際業務	永住者	特定技能	<u>特定技能</u>

通算した能美市在留年数	4年	6ヶ月	8年	11年	14年	2ヶ月半	2ヶ月半
日本語の資格	JLPT N3	JFT Basic	JLPT N2	JLPT N2	JLPT N2	JFT Basic	JFT Basic
主な仕事内容	伊達繫、 台持ち	介護	介護（食事、 お風呂、排泄）	アルミ部品 の製造	アルミ部品 の製造	介護	介護
最終学歴	高校	高校	高校	大学	大学	専門学校	専門学校

来日したきっかけ

経済的支援
「母国で暮らす家族を支えるために働くこと」



- ・インドネシアでは学歴に関係なく就職が難しい
→母国での就業機会が少ないことから、日本では自身の専門分野とは違う職に就く
外国人労働者もいる

仕事のやりがいと難しさ

新しい知識勉強したら嬉しい。毎日高齢者さん、利用者さんから色々教えてもらうことあるので、**楽しい**。
(外国人労働者B1)

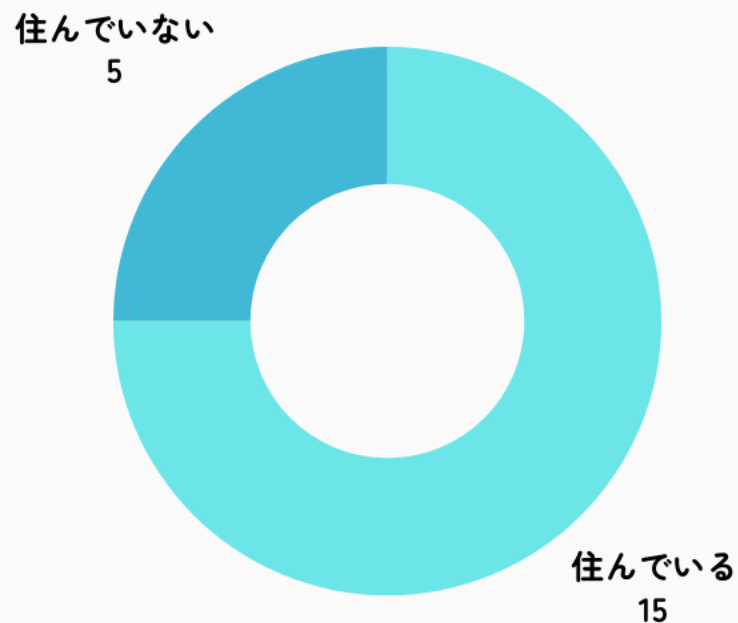
この仕事は「**ご家族感**」を感じる。まあ、本当はお客さんなんですけど、**自分の家族みたいに感じる**。「ありがとう」とか言ってくれれば、嬉しい。(外国人労働者B2)

自分の専門に合ってる仕事だからいいかなあと。毎日いろんなお客さんから注文がきて、**いろんな分野で自分が作ったものが使ってるから嬉しい**。(外国人労働者C1)

石川弁、**方言むずかしい**。勉強のとき、ちょっと違います。(外国人労働者D1,2)

人と関わり、「誰かのため」になることがやりがい

20町内会における外国人住民の居住有無



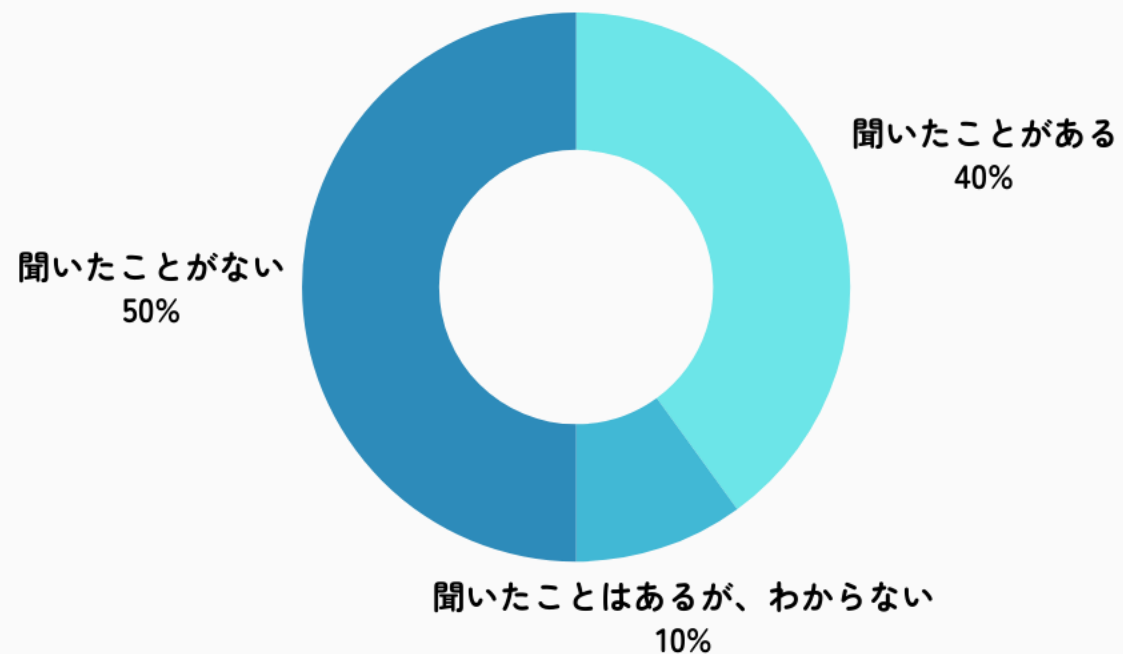
町内に外国人住民が住んでいても...

- ・ 外国人住民と全く交流がない 53.3%
 - ・ 働きかけ「何もしていない」 53.3%
- 自ら関わりを持とうとしない町内会が多い

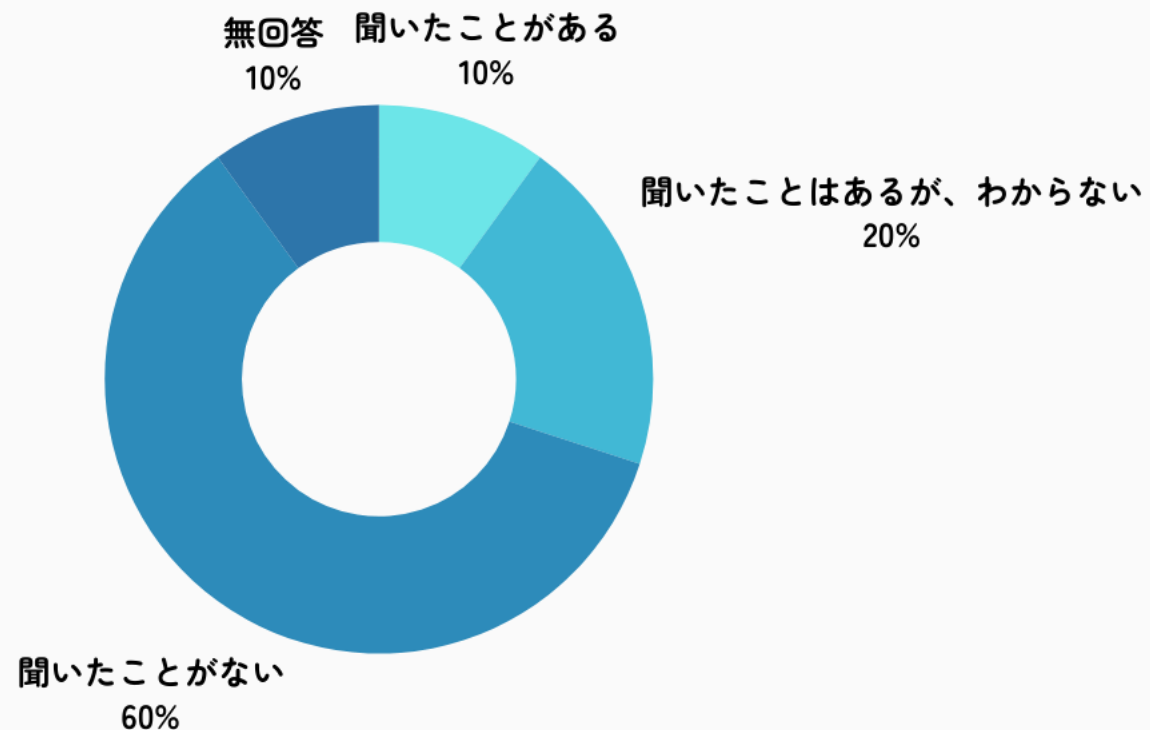
外国人住民との居住に関する一番の不安は、
「ごみ分別や交通ルールを守らないこと」

「多文化共生」と「市民性」の認知度

問11 多文化共生についてご存知ですか？



問12 市民性についてご存知ですか？



地域住民の外国人住民に対する意識

外国人居住有り町内会：外国人住民の増加による変化や影響を予想していない
むしろ、生活習慣の違いによるトラブル発生への問題意識と不安感
→「冷めた」受け入れ意識（深澤他 2022）が形成される傾向にある

外国人居住無し町内会：外国人住民の増加に伴う地域社会への肯定的な影響を期待
言葉の壁に対するより強い懸念
ゴミ分別や町内ルールなどの規則遵守を強く要求

基本的に防犯、清潔、掃除等今までの日本の良さが悪化するのは間違いない

地域の風習に合わせればよしとする

郷にはいけば郷に従え

05

調査の結果・分析：調査5

地域住民の外国人住民に対する意識

外国人住民との共生に対する関心の無さ
排他的・独断的な先入観（認知バイアス）

基本的に防犯、清潔、掃除等**今までの日本の良さが悪化するの**は間違いない

地域の**風習に合わせればよし**とする

郷には**いらば郷に従え**

地域住民からの要望

日本人と外国人住民が交流できるイベントや祭り、活動を増やしたほうがいい 40.0%

外国人との共生という点では、地域に入居してくる場合に、いつ、どこに、だれが、その人が町会に入会を希望しているのかなどの情報が行政から得られません。

外国人に情報を知らせる必要があり、一部外国語による看板を能美市が、設置してあるが、なかなか周知されていない現状、外国語の遊泳禁止の看板はない。企業等から情報を外国人へ繋いで頂きたい。町内会としては、能美市に要望をしているが、困っているのが、現状です。

入居するときに、企業側が町内に対して、外国人等について詳しく説明すると良い。

国際交流のニーズ

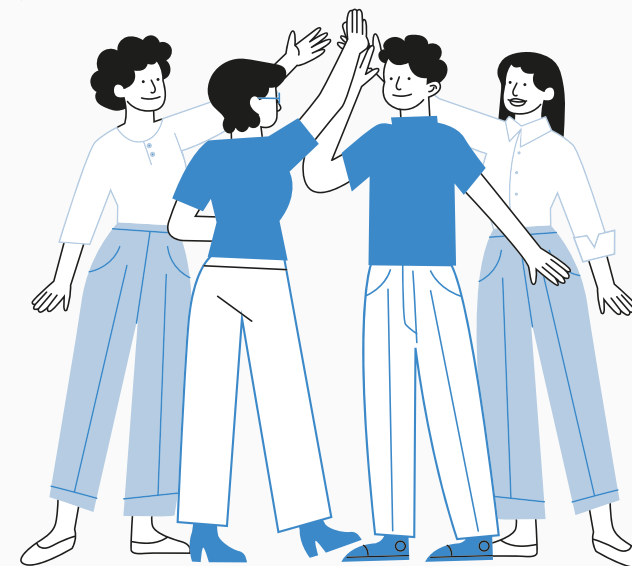
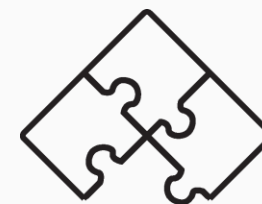
行政機関・地域・企業の連携課題

目次

- 01 はじめに
- 02 能美市国際交流協会での取り組み
- 03 卒業研究について
- 04 能美市で実施した調査について
- 05 調査の結果・分析
- 06 **考察に基づく多文化共生の現状と課題**
- 07 まとめ
- 08 参考文献

1. 地域日本語教室の役割＝多文化共生を支える基盤

- ・ 地域日本語教室は、地域住民と外国人住民が相互に影響し合う場
- ・ 言語学習の支援だけでなく、生活相談や文化交流の場
- ・ 人と人がつながるきっかけ→安心につながる



2. 外国人住民受け入れ意識の違い

- ・ 地域における外国人住民受け入れ意識の大きな温度差が見られる
日本語サポーター（献身的）⇔町内会会長（排他的）



外国人住民との交流経験の有無が

影響しているのではないか？



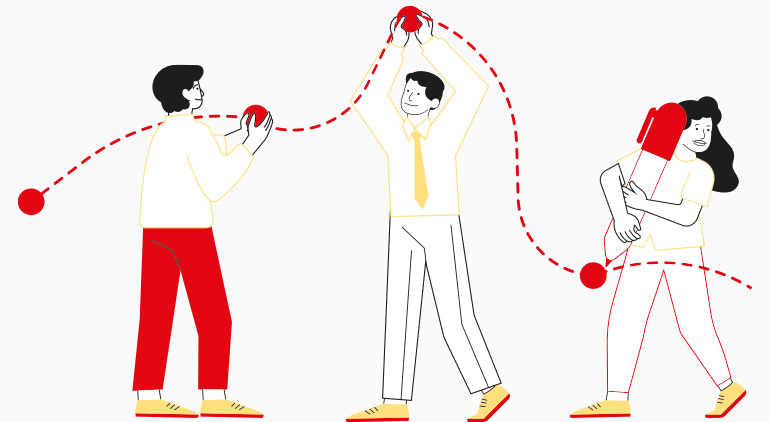
3. 国際交流のニーズ理解

- 地域住民：外国人住民と積極的に関わっている地域住民は限られた一部に過ぎず、国際交流に関心はあるものの、行動に移せない人が多い（放任主義）
- 外国人住民：「同じ地域で暮らす住民」として、地域住民と積極的に関わりたい
日本語で会話の練習がしたい、日本文化を知りたい

海のゴミについて話したい。あんなに美しいビーチなのに、そんなにゴミが多い。ボランティアが必要なら私も参加したいです。海がきれいになることを願うばかりです。能美市がもっと良くなることを願っています。

4. ボトムアップ型の実践

- ・ 双方のニーズをマッチさせるための取り組み
→行政-企業-地域住民-外国人住民が一体となって協力し合う
一人一人が地域で暮らす「市民」としての自覚を持てるように
- ・ 同じ地域の課題を一緒に考え、話し合う
→ともに暮らしやすい地域づくり
外国人住民の声も地域づくりに反映



目次

- 01 はじめに
- 02 能美市国際交流協会での取り組み
- 03 卒業研究について
- 04 能美市で実施した調査について
- 05 調査の結果・分析
- 06 考察に基づく多文化共生の現状と課題
- 07 **まとめ**
- 08 参考文献

「市民性」（細川 2016）とは

「市民」とは社会の一員として他者と関わり、社会的行為主体であることを自覚すること

社会につながる「生活者としての外国人」との共生

国籍に関係なく、同じ社会の一員として共に生活し、
同じ「人」として互いに尊重し支え合うこと



An illustration of approximately 12 hands of various skin tones and styles of sleeves and accessories (like watches and bracelets) reaching towards a central red heart. The hands are arranged in a circle, symbolizing unity and community.

地域日本語教室を核とした
「人」と「人」とのつながり

目次

- 01 はじめに
- 02 能美市国際交流協会での取り組み
- 03 卒業研究について
- 04 能美市で実施した調査について
- 05 調査の結果・分析
- 06 考察に基づく多文化共生の現状と課題
- 07 まとめ
- 08 **参考文献**

安達理恵(2019)「地域における多文化共生社会と市民性の育成」『地域政策学ジャーナル』第8巻,第1号第2号合併号(通算第14号), pp.179-181,愛知大学

荒島和子・古川夏渚子(2019)「外国人技能実習制度における監理団体での日本語教育の役割:ある監理団体へのインタビューをもとに」『日本語・日本文化研究』29号,pp.139-156,大阪大学

石川県観光戦略推進部国際交流課「石川県外国人住民の生活実態・ニーズ調査」(2023)(最終閲覧2024/01/14)

石川県国際交流協会「石川県の地域日本語教室リスト」(最終閲覧2024/06/07)

石川県(2023)「市町別・国籍別外国人住民数」

<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/kokusai/gaikokujin/documents/r5kokuseki.pdf>(最終閲覧2024/06/01)

石川県(2023)「市町別・在留資格別外国人住民数」

<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/kokusai/gaikokujin/documents/r5zairyusikaku.pdf>(最終閲覧2024/06/01)

石川県「住民基本台帳月報(令和5年12月)」https://www.pref.ishikawa.lg.jp/sichousien/documents/r5_12jukijinko.pdf(最終閲覧2024/06/01)

大阪市「日本語学習についてのアンケート」<https://www.city.osaka.lg.jp/kyoiku/cmsfiles/contents/0000569/569342/houkokusyo12.pdf>(最終閲覧2024/06/11)

太田裕子(2019)『はじめて「質的研究」を「書く」あなたへ』東京図書

滋賀県「多文化共生についてのアンケート結果」<https://www.pref.shiga.lg.jp/file/attachment/5125395.pdf>(最終閲覧2024/07/24)

出入国在留管理庁「外国人材の受入れ・矯正のための総合的対応策」

https://www.moj.go.jp/isa/policies/coexistence/nyuukokukanri01_00140.html(最終閲覧2024/02/13)

出入国在留管理庁「令和5年末現在における在留外国人数について」https://www.moj.go.jp/isa/publications/press/13_00040.html#

(最終閲覧2024/10/13)

新庄あいみ・西口光一(2007)「地域日本語活動に参加する市民ボランティアの意識：大阪府下で活動するグループを例として」『多文化社会と留学生交流：大阪大学留学生センター研究論集』11号, pp.57-64

総社市(2018)「総社市における外国人就業者の日本語教育支援に関する調査報告書」(最終閲覧2023/11/30)

鶴見国際交流ラウンジ日本語部会(2018)「鶴見国際交流ラウンジ 日本語教室・学習者ニーズ調査 実施報告」

<https://tsurumilounge.com/wordpress/wp-content/uploads/2018/01/鶴見国際交流ラウンジ日本語教室・学習者ニーズ調査報告書.pdf> (最終閲覧2024/06/11)

中東靖恵(2016)「岡山県総社市における「生活者としての外国人」のための日本語教育 事業の立ち上げと展開-行政と取り組む地域日本語教育の仕組み作り-」『岡山大学文学部紀要』66巻, pp.37-53

中東靖恵(2021)「岡山県総社市における多文化共生のまちづくりとしての地域日本語教育-「総社モデル」の構築と展開-」『ことばの研究13』pp.60-69, 長野県ことばの会

名古屋市(2020)「地域日本語教育に関する調査結果報告書」

https://www.city.nagoya.jp/kankobunkakoryu/cmsfiles/contents/0000127/127385/tyo_usakekkahonpen.pdf (最終閲覧2024/06/11)

服部圭子(2022)「地域在住の外国人との『多文化共生』の街づくりに向けて-企業における外国人労働者の日本語学習に関する調査-」『近畿大学生物理工学部紀要』49号, pp.11-25

細川英雄(2016)「市民性形成をめざす言語教育とは何か」『リテラシーズ』18, pp.55-55 くろしお出版

能美市国際交流協会 <https://sites.google.com/view/niea/ホーム?authuser=0> (最終閲覧2024/05/07)

深澤のぞみ, 眞住優助, 岸田由美, 本所恵, 今井朋人, 平子紘平(2022)「外国人散在地域住民の外国人受け入れをめぐる意識の考察-石川県白山市によるアンケート調査の報告-」『金沢大学国際機構紀要』4巻, pp.109-122

文化庁「『生活者としての外国人』に対する日本語教育の内容・方法の充実（カリキュラム案, ガイドブック, 教材例集, 日本語能力評価, 指導力評価, ハンドブック）」https://www.bunka.go.jp/seisaku/kokugo_nihongo/kyoiku/nihongo_curriculum/（最終閲覧2024/02/13）

文化庁「日本語教育の推進に関する法律について」

https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunka_gyosei/shokan_horei/other/suishin_houritsu/index.html（最終閲覧2024/02/13）


調査5で提示した、「多文化共生」「市民性」の定義

「多文化共生」（岐阜県 2016）とは

国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化を認め合い、地域社会の一員として、共に暮らしていくことを意味します。

「市民性」（細川 2016）とは

「市民」とは社会の一員として他者と関わり、社会的行為主体であることを自覚することを意味します。

An illustration of a globe surrounded by ten hands of various skin tones and sleeve colors, all reaching towards the center. The hands are arranged in a circle, with some wearing bracelets or bangles. The globe is positioned in the center of the circle.

ありがとうございました!